

SNSで旬な情報を投稿しています



特集 | 第10回通常総代会



©よい食P

JAしまねは統合して10年を迎えました
—— 2015 ▶ 2024 ——



JA共済の
地域貢献活動



JALまね 隠岐地区本部版

2024

JAしまね第10回通常総代会を6月30日(日)、出雲市の出雲市民会館で開催しました。



今年で第10回を数える通常総代会を6月30日(日)、出雲市の出雲市民会館で開催しました。

当日は、総代定数1,000人(欠員3人)に対し、965人(書面決議を含む)が出席。議長団に、胡摩田弘孝総代(石見銀山地区本部)、齋藤学総代(西いわみ地区本部)の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

石川寿樹組合長は「令和6年度は農林中央金庫の決算悪化による還元減少や共済事業における保有高の減少などにより、大幅な収益減少が予想されるが、これまで取り組んだ事業改革の成果もあり事業利益で8,000万円、当期剰余金2億2,800万円を目標に掲げ取り組む。また、農業振興支援事業についても昨年度同様1億5,000万円を計画し、米粉・有機農業の生産拡大、自動車燃料事業の県域会社化、ホームセンターとの連携にも引き続き取り組み、成果を出していきたい。JAを取り巻く環境は厳しいが、抱えている課題に対ししっかり検討を進め、組合員の負担に応えられるよう10年先を見据え更なる改革を行っていく」とあいさつしました。

また今回、食料安全保障の強化に向けた基本農政の確立に関する特別決議が、満場一致で採択されました。

食料安全保障の強化に向けた施策の具体化を政府・与党に求めるとともに、総合事業の強みを活かした活動と事業の好循環を目指し、さらには国産農畜産物の適正な価格形成の実現へ向け、「国消国産」運動を強力に展開することを確認しました。



議長団 胡摩田弘孝 総代(左) 齋藤学 総代(右)



石川寿樹 代表理事組合長

食料安全保障の強化に向けた基本農政の確立に関する特別決議 (案)

我が国農業においては、生産資材価格の高止まりが依然として続く一方で、世界的な物価高騰の波のなかでも、その流れに国産農畜産物だけが取り残されている。このままでは、多くの地域で営農が継続できるかどうかという危機的な状況にまで立ち至っている。

このようななか、JAグループのこれまでの政策提案を十分に踏まえた形でとりまとめられた「食料・農業・農村基本法改正案」の国会審議が行われ、国会会で成立した。

JAグループは、食料安全保障の強化や適正な価格形成の実現、多様な農業者への支援等、新たな基本法に沿った形で、次期基本計画において、早急に施策の具体化を図っていくことを、政府・与党に強く求めたい。

今後、JAの組織・事業・経営基盤が厳しさを増すなかで、不断の自己改革に取り組みながら、総合事業の力を発揮して、活動と事業の好循環による組合員の営農と豊かなくらしを実現させることが重要であり、組織内外に理解・共感されるよう取り組みの具体化をはかる。

さらに、安全・安心な国産農畜産物を安定的に供給するというJAグループの使命を果たすとともに、我が国の食と農に対する国民理解の醸成と国産農畜産物の適正な価格形成の実現に向け、「国消国産」をキーワードに、消費者・事業者等への理解醸成・行動促成を促す取り組みを強力に展開する。

以上、決議する。

令和6年6月30日

第10回 島根県農業協同組合 通常総代会

特別決議

第10回

通常総代会特集

令和5年度 事業報告

経営基盤の強化をすすめるとともに、わが国の食と農に対する国民理解の醸成と国消国産の確立に向けた取り組みをすすめました。



日高光弘 代表理事専務

令和5年度は、コロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻し、行動制限解除に伴う各種イベントの再開や海外からの訪日客の増加などにより、経済活動も活発になってきました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻以降、国際的な資源価格高騰に加え円安傾向が続いたことにより、肥料・飼料をはじめとした生産資材価格等は高止まりを続け、農業経営に深刻な影響を与えました。

島根県内の経済においては、個人消費や雇用情勢等持ち直しの動きが続いており、全体的に緩やかな回復の動きが見受けられるものの、国際情勢等を踏まえた金融・為替市場の動向や物価へ与える影響について、引き続き注視していく必要があります。

農業情勢においては、6月から8月にかけて発生した大雨・台風災害、記録的な猛暑により各地で農産物・農業施設等に被害をもたらしました。また、1月に発生した令和6年能登半島地震により北陸地方を中心に甚大な被害が発生しましたが、全国各地から支援が送られており、引き続き復興支援の取り組みを進めていく必要があります。

JAグループにおいては、引き続き「不断の自己改革」に全力で取り組むことを通じ、農業生産基盤の確立、地域・組織・事業基盤の確立、経営基盤の強化をすすめるとともに、わが国の食と農に対する国民理解の醸成と国消国産の確立に向けた取り組みをすすめました。

こうした状況の中、令和5年度は「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の2年目として、園芸振興、担い手確保・育成、また有機農業をはじめとした付加価値の高い、地域資源を活用した循環型農業の拡大に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が390億2000万円、購入品供給高が317億3800万円、貯金残高が1兆6億7400万円、貸出金残高が2,909億9200万円、長期共済保有高が2兆7,724億9100万円、貸出金残高が2,909億9200万円、長期共済保有高が2兆7,724億9100万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は13.44%となりました。

収支面については、事業利益が7億1300万円、經常利益は20億5400万円となり、当期剰余金は13億7200万円となりました。

貯金残高	1兆6億7400万円
貸出金残高	2,909億9200万円
長期共済保有高	2兆7,724億9100万円
自己資本比率	13.44%
事業利益	7億1300万円
經常利益	20億5400万円
当期剰余金	13億7200万円
販売品販売・取扱高	390億2000万円
購入品供給高	317億3800万円

【議案】

本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- 第1号議案 令和5年度事業報告及び剰余金処分案について
- 第2号議案 令和6年度事業計画の設定について
- 第3号議案 定款及び定款附属書総代選挙規程の一部変更について(特別決議案)
- 第4号議案 規約の一部変更について
- 第5号議案 「一般社団法人ファームサポート美郷」からの退社について
- 第6号議案 令和6年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
- 第7号議案 退任理事に対する退職慰労金の支給について
- 第8号議案 令和6年度における理事の報酬額の決定について
- 第9号議案 令和6年度における監事の報酬額の決定について



令和6年度 運営方針・事業方針

指導事業

農業振興

令和6年度は「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、2カ年の進捗状況と中間総括を踏まえ施策の遂行を通じて、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に繋がる目標の達成に全力で取り組みます。

持続可能な地域農業を実現するため、中核的担い手や新規就農者、多様な農業者に対する積極的な支援活動を通じ「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を指すとともに、「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、持続可能な生産体系の構築に向けた環境調和型農業を推進します。

また、物流の2024年問題への対応が求められるなか、産地間連携による広域物流改善への体制づくり、取り組みをすすめることともに、産地へのコスト負担が集中しないように施策の拡充をJAグループとして求めています。

重点実施事項

- ①次世代総点検運動の取り組みと地域の担い手育成
- ②担い手経営体の経営課題に対応した農業経営支援

- ③JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施

- ④農作業等の安全・安心対策

- ⑤インボイス制度導入に係る部門(品目) 横断的な情報発信

- ⑥営農指導・生産振興での生産者貢献

- ⑦農業振興支援事業の実施

- ⑧島根県産農畜産物の安全・安心の取り組み

- ⑨農業労働力確保対策

- ⑩将来にわたって持続・発展する島根農業を可能にするスマート農業の推進

販売事業

農業戦略実践3カ年営農計画に掲げた「持続可能な地域農業の実現」に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

農産物の販売経路の多角化や野菜の加工業務用需要の増大等の流通・販売環境の変化に対応するため、株式会社JAアグリ島根・JA全農グループ等と連携を図り、有利販売と産地化を実現します。

信用事業

持続可能な島根の農業と、豊かであらゆる地域共生社会を実現するため、JAしまねの総合事業を活かしながら、貯金、貸出金といった生活基盤を支える事業を中心に様々な相談機能やコンサルティング機能を提供し、農業・くらし・地域によりそう金融仲介機能を発揮します。

共済事業

組合員・利用者により「寄り添い」、包括的な安心を「届け」、地域農業・地域社会とより広く深く長く「繋がっていく」ことにより、組合員・利用者への「安心」と「満足」を提供します。併せて、組合員・利用者一人ひとりのニーズに応じた事業活動を実践し、事業環境の変化に適切に対応した事業展開と地域農業・地域社会への貢献に取り組みます。

くらしの活動、広報活動、地域貢献・地域活性化

JAくらしの活動の実践にあたっては、活動の理解促進、女性部・青年組織・支店ふれあい活動などと連携した活動の展開や教育文化活動の場づくりに努めます。

購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、物流改革や資材店舗改革、EC取り引きの開始等による効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

生活購買

組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、事業の効率化とサービスの充実に努め、「安心」と「満足」を感じていただける事業展開を行います。



総代会資料
はこちら



※令和6年度事業計画より一部抜粋
令和5年度実績や令和6年度事業計画の詳細などは、JAしまねホームページ掲載の通常総代会資料をご覧ください。



功 勞 者 表 彰 名 簿

第10回通常総代会開催にあたり、昨年9月の総代任期満了により総代を退任された皆様のなかから、統合前を含めて長年に渡りご尽力いただいた皆様方を讃え、功労者表彰を行いました。

くにびき地区本部

井上 正雄 鍛冶 敏博 青戸 悟 寺本 敏夫
北野 清 高井 美範 中村 周一 菅田 秀高

(8名)

斐川地区本部

高橋 英樹 渡邊 重夫 陰山 智 山根 陽一
高橋 正 尾原 武治 古川 和義 山根 猛

(8名)

やすぎ地区本部

原田 稔 内田 卓実 原 政男 梅瀬 倫住
難波 秀夫 倉井 宏

(6名)

石見銀山地区本部

和田 全司 坂根 智子 荊尾 敏 吉原 和俊
石飛 光男 松尾 薫 森田 秀治 厚朴 邦広

(8名)

雲南地区本部

内田 幹雄 藤原 功 荒木 正 石田 朋子
佐佐木孝雄 山本 雅臣 加本 恂二 高橋美佐子
原 要吉 今岡 幹雄 勝部 治男 星野 昭美
藤原 順一 市場 栄 瀧 元 森山 泰孝
渡部世津夫 川角 茂 大島 伴江 藤原 徳二
石原 繁 岡田 博文

(22名)

鳥根おおち地区本部

細貝 輝男 黒川民次郎 福島教次郎 長畠八志登
加茂 秀幸 金川 正夫 石川 秀晴

(7名)

隠岐地区本部

田中 恵吉 池田 修千 脇 良男 佐々木静夫
佐々木秀夫 井川 寛

(6名)

いわみ中央地区本部

竹本 俊 石田 善正 多田 正哉 石田 將
塚本 守 小西喜美子 島本 宏 栗栖 一雄
反田 正利

(9名)

隠岐どうぜん地区本部

灘 誠太郎 向濱 樽幸 梅原 文雄

(3名)

西いわみ地区本部

田中 豊志 寺戸 建治 田中 勉 平川 喜章
石橋 政行 石橋 剛 北條 義洋 大内 浩明
岡本 隆 元岡タツ子 西川 友史 齋藤 勝之
三浦富士義 林 靖登 斎藤 勲 和田 悦子
水津 正 山本 健次 河野 孝祐 佐々木富隆

(20名)

出雲地区本部

渡部喜代人 高塚ヨシミ 矢田 泰男 吾郷 益雄
飯塚 啓二 西尾 信昌 三島 清三 福田 一樹
田中 正和 長岡 光孝 長岡 安子 安田 稔
小川 久吉 兄玉 一好 伊藤 安治 藤江 鉄雄
石飛 嗣男 岡田 哲雄 武田 一男 石飛 憲治
竹下 茂 谷口 秋子 白根 重雄 柳楽 典子
板垣 房雄 神田 利幸

(26名)

。令和5年9月退任の皆様。順不同。123名



J A し ま ね 統 合 10 年 記 念 式 典

～ 「農業」と「地域」と「くらし」のために～

J A し ま ね は、組 合 員 ・ 地 域 の 皆 さ ま の お か げ を も ち ま し て、今 年 3 月 に 誕 生 し て 10 年 の 節 目 を 迎 え る こ と が で き ま し た。当 J A は こ れ か ら も 農 業 と 地 域 社 会 に 根 ざ し た 取 り 組 み を 積 極 的 に 行 っ て ま い り ま す。



功労者表彰を受けた萬代元組合長（前左列から5番目）、竹下前組合長（前左列から7番目）と来賓、JA役員ら

組合長のリーダーシップや統合による万全な経営基盤などさまざまな努力で乗り越えてきた。この作り上げられた基盤をもとに、将来にわたる持続可能なJAづくりを目指し、『攻めの改革』に取り組んでいく」と話しました。

第10回通常総代会を行った同日、出雲市の出雲市民会館でJAしまね統合10年記念式典を開きました。各地区本部の総代やJA役員、歴代組合長、来賓らが出席。統合から現在までの歩みを振り返り、次の10年に向け気持ちを新たにしました。

式典では、JAしまね統合の協議を主導し初代組合長としてJA運営に尽力した萬代宣雄元組合長、2代目組合長として統合メリット発揮に向けリーダーシップを発揮した竹下正幸前組合長を讃え、功労者表彰を行いました。

当JAの石川寿樹組合長は「統合以来、さまざまな荒波が押し寄せJAの経営に多大な影響を与えたが、歴代



統合10年を
記念して作成した
記念誌・動画は
JAしまね
ホームページより
ご覧ください。



第10回 総代会Q&A



農林中央金庫に関する質問

・多額の赤字が見込まれる今回の農林中央金庫の問題は許されない事案だと考えている。JAしまねとして農林中央金庫へしっかり抗議すべきである。また、経営陣の責任はどうなっているのか。

- ・農林中央金庫に対し、組合員がJAへ預けた大切なお金を預かっているという自覚と責任を持って運用するよう伝えてほしい。
- ・農林中央金庫の収支状況はいつ回復するのか。

回答 6月に行われた農林中央金庫の総代会や県代表者会へ、当JAより石川寿樹組合長が出席し、今回の件に対し経営管理委員会および理事の経営責任について意見しました。その中で、報酬を減額することや、再建に向けた道筋を立てるため現体制を継続する旨の答弁がありました。理事長以下常勤役員が辞めることになれば、ますます混乱が深まることにもなり、今後、系統としての農林中央金庫の在り方について再考するとともに、農林中央金庫が全国のJAからの増資を受けながら一日も早く立ち直られるよう支えてまいります。

農林中央金庫は資本増強を受け、令和7年度以降の黒字を計画しており、以降は還元が受けられると予想されます。

人事部門に関する質問

・人事制度の一本化（新人事制度）について、なかなか協議が進んでいないと聞く。具体的に何が支障となっているのか。

- ・農業者の所得向上も大事だが、並行して職員の賃上げも重要だ。優秀な人材が辞めていくような組織ではいけない。職員が減ると営農活動が守られなくなってしまう。
- ・職場の雰囲気も大事である。働きやすい職場づくりに向けた取り組みを教えてください。

回答 原因として、総労働時間の短縮や完全週休二日制の導入、外勤日体制、地区本部ごとに定めている手当が統一できていないなどの課題整理があげられます。初任給を引き上げるためにも、JAしまね全体の賃金体系の見直しが必要です。新人事制度について、令和6年度中に実施する強い思いで協議を進めてまいります。

JAしまねでは人事教育基本方針を策定し、これをもとに職員の人事や教育を行っています。また、職場内の不祥事やハラスメント行為を報告するヘルプラインも設置しています。引き続き、職場での働きやすさ、職員がやりがいを持って働けるよう職場環境を整えてまいります。

食と農に関する質問

・「食・農・JA」について資料に記載があるが、農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、子どもや孫たちが育っていく10年後の「食と農」が心配である。農業にも食べ物にも苦しむことのない、持続可能な輝かしい未来を作してほしい。

回答 令和6年度基本方針に掲げているとおり、「食・農・JA」への県民の理解醸成に取り組んでまいります。また、JAの最大の使命は食と農を守ることであり、そのためにも自己改革に取り組み、そこで生み出した財源を農業振興に活用してまいります。

運営体制に関する質問

・総代会だけではなく、もう少し時間をかけて組合員に説明する必要があるのではないか。

- ・どのように説明の場を設け組合員の意見を聞くのか。また、地区本部制や事業本部制などのメリット・デメリットを分かりやすく説明し、しっかりと意見を聞いた上で次の方向性を示してほしい。
- ・組合員で成り立っている農協であることを十分認識をいただいて、11地区本部はそのままにいただきたい。これ以上の合理化は組合員離れにつながるなどの認識でいる。組合員のための農協になっていただきたい。
- ・地区本部制をいつまでもやっていく必要はないと思う。組合員に不便があってはいけないが、管理部門をまとめることで経費を抑え、それを営農部門や地域に密着したものの強化につなげるなど、JAの将来を見据えてやっていくべきだと思う。

回答 現在の地区本部制は、県内11JAが統合してスタートさせるには非常に有効な仕組みでありました。一方、事業を進めていく中で、地区本部制の良い点・悪い点が見えてきました。また、統合当時では考えられないほどJAや農業を取り巻く環境は厳しさを増しており、将来を見据えた際に、より良い運営体制があるのではないかと令和6年度事業計画に記載いたしました。今後、組合員の皆さんとしっかり議論し、できれば11月頃に臨時総代会を開き方向性を判断いただきたいと思います。

財務調整に関する質問

・財務調整未達地区本部の補填減資は出資配当のはずだが、理事会で決定した純財産計算方式で埋め込んだら財務調整が達成できたとの説明があった。純財産計算方式で埋め込むことは令和元年の第5回総代会資料に載っているとのことだが、それまでの年度でも組合員がわからないなかで理事会決定してすでに埋め込んでいるのではないかと。理事会での決定について、どのような経緯で決定されたか知りたい。

回答 統合前に取り交わした「統合に関する確認書」では、財務調整基準額に満たないJA（地区本部）は、①財務調整基準額に達するまで統合後の出資配当を増資財源とすること②統合後10事業年度までこの取扱いを行うことの2点が書かれています。

1点目の対応については、未達地区本部の出資配当はJAで留保し、出資1口金額になったら出資金に振り替えるという取扱いを行っています。

2点目の対応についても、いわみ中央地区本部が平成27年度決算、西いわみ地区本部が平成28年度決算、島根おち地区本部が平成29年度決算で、それぞれ財務調整基準額に達し、残る雲南地区本部も最終の10事業年度である今次決算で達しました。未達額に当該地区本部の当期剰余金を充当して財務調整基準額に達したかを判断する方法

については、統合後は地区本部ごとの純財産計算ができない仕組みのため、純財産計算方法に準じた方法として平成28年5月の理事会で協議・決定を行い、令和元年6月の第5回通常総代会にも報告させていただいています。

この他にも多くのご意見をいただきました。



©よい食P



topics
1

令和6年度水稲生産者大会を開催

12
SDGs
持続可能な
社会

島根県と島根県農業振興協会、JAしまねは7月11日、「食味・品質の向上で売れる米づくりを目指して」をテーマに令和6年度水稲生産者大会を開きました。大田市のアステラスをメイン会場に、各地区本部などをオンラインでつなぎ生産者や県、JAの担当者ら約270人が参加。消費者動向や高温条件下での栽培管理などについて学びました。



堀野さんの講演を聞く参加者ら

基調講演では3人の講師を迎え、このうち堀之内実験農園の堀野俊郎さんは「米の品質・食味研究と地域産米づくりへの適用」と題して講演。長年の食味研究を踏まえて、飯南町に伝わる「稲を作るな、い〜ね（根）を作れ」という言葉から発想を得た、鉄材散布による根腐れ対策と疎植による倒伏対策を組み合わせた栽培方法が良質・良食味米づくりにつながったと発表しました。

また、JAアグリ島根からは島根米の販売に関する情報提供があり、島根県農業技術センターからは、水稲栽培の高温対策として稲穂が出て種子が成長する時期（登熟期）の水管理が地温低下に有効であることや昨年県内でも発生が確認され始めたイネカメムシの発生状況や防除対策などについて報告しました。

topics
2

令和6年度島根県JA青年大会を開催



島根県農協青年組織協議会は7月17日、安来市の総合文化ホールアルテピアで令和6年度島根県JA青年大会を開きました。青年の主張と組織活動実績発表の2部門で各青年連盟から8人が発表。青年の主張の部は雲南青年連盟の藤原正博さん、組織活動実績発表の部はくにびき青年連盟の上山根有史さんが最優秀賞に輝きました。2人は12月12日に徳島県で開催される中国四国地区JA青年大会へ出場します。

藤原さんは、自身が水稲作業で困っていた際に盟友が助けてくれた経験から、農業機械や労働力などの農業経営資源を盟友同士でシェアする仕組みづくりを提案。青年連盟に加入するメリットを創り出すことで、盟友数の拡大や組織力強化にもつながると発表しました。



今大会で発表した盟友ら

審査員長を務めた一般社団法人家の光協会西日本普及文化局の小出繁副局長は「自身の経営ビジョンが盛り込まれた非常に意欲的な発表で、提案内容も明確・具体的で発展性も感じられた」と講評しました。

上山根さんは、くにびき青年連盟の食農教育活動について発表。農業に触れる機会が減る中、園児との米づくり体験やイチゴの出前授業など幼いころから関心を持ってもらうための4つの取り組みを紹介しました。

その他の入賞者は次のとおりです。

- ◆青年の主張の部優秀賞＝大森雄介（やすぎ青年連盟）
- ◆組織活動実績発表の部優秀賞＝伊藤 学（出雲青年連盟）

topics
3

県産たまごの消費拡大を 島根県養鶏協会が県知事を訪問



要請書を丸山知事（左から3番目）へ手渡す
同協会の竹下会長（左から4番目）ら

県内の養鶏農家で構成する島根県養鶏協会は7月5日、丸山達也知事を訪れ、鳥インフルエンザの余波で需要が落ち込む県産たまごの消費拡大や飼料・資材価格の高止まりの影響を受ける養鶏農家への支援を求める要請書を手渡しました。

現在、鳥インフルエンザの影響で大幅に減少した全国の飼養羽数は元に戻りつつある一方で、たまごの消費が回復せず価格が大幅に下落。このような中で県外産たまごが県内市場に対して積極的な売り込みの動きがあり、県内スーパーなどで県内生産者の販路が奪われかねないといった厳しい状況が懸念されます。

この状況を踏まえ、同協会は県産たまごの地産地消・消費拡大の取り組み支援や配合飼料価格安定制度の見直しを国へ求めること、県産飼料用米の増産に向けたJAとの連携強化などを要望しました。丸山知事は「県としてもこの危機感を共有しながら今後の対策をしていきたい」と応えました。

同協会の竹下正幸会長は「県民の皆さんに消費拡大に向けた対応策を知っていただき、県産たまごを消費してもらえる状況を作っていきたい」と話しました。



同協会が今年7月に行った島根県鶏卵品質改善共励会で最優秀賞に輝いた(有)福田ファームのたまごを味わい、県産たまごをPRする丸山知事



想いをひとつに✿ しまねの女性部!

JA女性組織3か年計画

「JA女性 想いをひとつに かなえよう✿」の実践3年目です。

つながろう✿

まもろう✿

かかわろう✿

の3つの具体的目標を掲げ活動します。

西いわみ女性部

つながろう✿

仲間と・地域と・他組織と・次代と



JAしまね西いわみ女性部は、JA全国女性組織協議会が掲げる共通目標「つながろう」「まもろう」「かかわろう」をもとに、12の支部で年間計画を立てながら活動しています。

年に一度の恒例イベントとして、全女性部員が参加するグラウンドゴルフ交流会や生活研修旅行を企画し、部員同士の交流を深めています。その他にも、女性部としてJAの支部祭り、地域のイベント、ミニデイサービス、ちやぐりんフェスタ、JA地区座談会、おもてなしプロジェクト、目的別グループ活動



(料理、手芸、読書会、野菜作り、50年続く味噌作り、地域貢献) など、積極的に参加・活動しています。

また、同女性部が行う「手作りハム」の活動は好評で、今年も各支部で取り組んでおり、女性部活動のメインとなっています。この活動は部員の新規加入にもつながっています。

今後もJAや地域に貢献しながら女性部が団結し、みんな楽しく活動していきたいと思えます。



JA YOUTH

一所懸命青年連盟

JAしまね島根おおち青年連盟

地産地消に取り組み、農業を通じて、地域に貢献していきたい

おがさわら
小笠原

こういち
晃一さん



JAしまね島根おおち青年連盟石見支部(以下、農青連)に加入している小笠原晃一さん(40)は、地元邑南町で就農して今年で8年目。県内の農林大学校を卒業後、11年間は花・野菜農家へ雇用就農。そこで働く中で「自分の手で消費者に『美味しい!』また買いたい!」と笑顔で評価してもらえる物を作りたい」という気持ちを持つようになり、8年前から野菜農家として自営就農を始めました。安全・安心をモットーに、夏はミニトマト、冬は白ネギ、その他にもピーマン、キャベツなど幅広く野菜を栽培しています。

農青連としては島根県農協青年組織協議会の委員を務めている小笠原さん。「島根おおちはもちろんだが、島根県全体の農青連を盛り上げられるような活動をしていきたい!」と今後の展望を熱く語りました。

カラフルな葉は観賞用にも

スイスチャードは和名をフダンソウ（不断草）といい、ホウレンソウと同じアカザ科の野菜で、おひたし・あえ物・炒め物に利用します。

生育適温は15～20度ですが、暑さ・寒さに強く、ホウレンソウの作りにくい夏に容易に栽培ができます。このように、フダンソウの名前は季節を問わず絶え間なく栽培できることに由来します。中間地では、春まきは4月に種まきし、5、6月に収穫し、夏まきは7月にまいて8月に収穫できます。秋まきは10月に種まきし、12月から下葉をかきながら収穫を始めます。

品種

「アイdeal」(サカタのタネ)、「ブライトライト」(タキイ種苗)は葉柄、葉脈が赤、白、黄色などに着色します。フダンソウと呼ばれる品種には、「ふだん草」「うまい菜」などがあります。

畑の準備

事前に1平方m当たり苦土石灰150gを予定の畑に散布して耕しておきます(図1)。その後、化成肥料200gと堆肥2kgを施し、床幅90cmの栽培床を作ります。

種まき

10～30度で発芽し、適温は25度程度です。じかまきでは条間20cm程度、株間5cm程度の間隔で1カ所に3、4粒を種まきします(図2)。1粒の種(種球)から2、3本発芽するの

で、厚まきしないよう気を付けましょう。種まき後は、不織布でべたがけをして、幼苗を保護すると良いでしょう。苗作りをする場合はセルトレーや小型ポットを使い、本葉5、6枚まで育て、栽培床に条間20cm程度、株間15cm程度に植え付けます。

間引き・追肥

発芽後2、3回に分けて間引きます。初めは本葉が開く頃に、生長の遅れた株や密になっている所の株を抜き取ります。最後の間引きで本葉4、5枚の頃に株間15cm程度にします。このとき追肥として化成肥料は1平方m当たり30g程度を条間に施して根元に軽く土寄せします。

収穫

えぐみの少ない若取りを心がけ、春まきで種まき後40～50日、夏まきで30～40日、秋まきでは40～60日で、草丈が20cmくらいから収穫します(図3)。下葉からかき取って利用すると、長い間楽しめます。カラフルな品種を観賞用とするとき

は、葉の長さを40～50cmまで大きくすると良いでしょう。また、秋まきでは冬に向かうにつれ、葉が鮮やかに着色します。

図1 畑の準備



図2 種まき(じかまき)

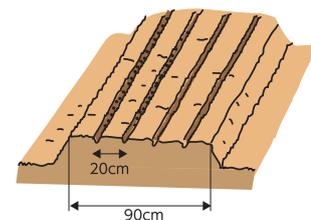
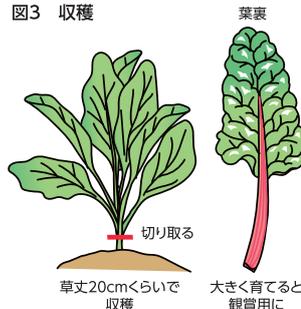


図3 収穫



栽培カレンダー (スイスチャード)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
冷涼地	●	■	■	●	■	●	■	■		
中間地	●	■	■	●	■	●	■	■		
暖地				●	■	●	■	■		

● 種まき(じかまき) ■ 生育 ■ 収穫

理事会情報 (7月2日開催)

【協議事項】

- ①新規プロジェクトの設置について
- ②令和6年度補助事業の実施について
- ③令和6年7月4日付・8月1日付 機構改革の実施について

- ④第10事業年度業務報告書について
- ⑤常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑥人事ローテーション実施要項の制定について
- ⑦新人事制度導入に向けた今後の進め方について

理事会情報 (7月29日開催)

【協議事項】

- ①令和7年度鳥根県農業政策及び予算に関する要望について【第一次案】
- ②ディスクロージャー誌2024について
- ③農林中金からの資本再構築の協力要請への対応につ

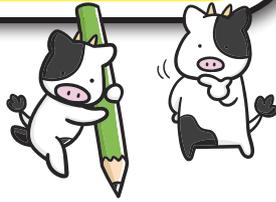
- いて
- ④大口貸出について
- ⑤理事(常勤・非常勤)と組合の取引について
- ⑥令和5年度決算監事監査報告書整備改善を要する事項(個別意見)への回答について

クロスワードパズル

農協全国商品券をもらっちゃおう!!

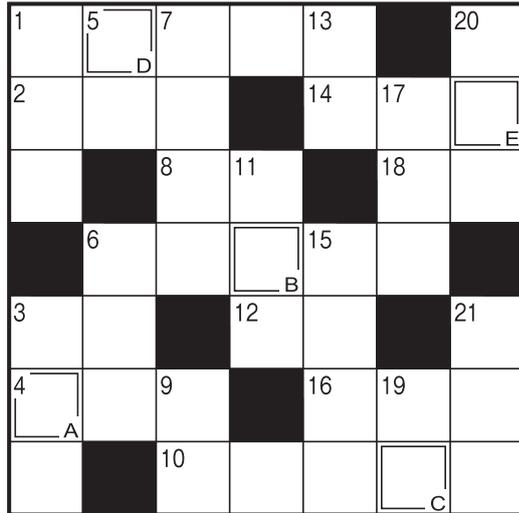
出典：(株)新聞連『JA広報通信』2024年8月号

CrossWord Puzzle



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- ① わらなどで編んで米や炭を詰めます
- ③ 「」や () のこと
- ⑤ 長く連れ添った夫婦は似てくるとか
- ⑥ アキアカネ、オニヤンマといえ
- ⑦ からすみはボラなどの——を加工したものです
- ⑨ 食パンのふちの部分
- ⑪ 筒に強く息を送り込んで矢を飛ばします
- ⑬ 派手なところがありません
- ⑮ 明日の授業に備えて——をした
- ⑰ 房で売られる果物
- ⑲ 神の起こした洪水を箱舟で乗り越えました
- ⑳ 天竺牡丹(てんじくぼたん)とも呼ばれるキク科の花
- ㉑ 一時的に寝ること

ヨコのカギ

- ① 9月2日は——の日。ハズレくじ対象の抽選もあります
- ② ドミソとかドファラとか
- ③ 握りずしを数えるときに使う言葉
- ④ ミヨウガはこの部分や若い茎を食べます
- ⑥ 前身は江戸です
- ⑧ 敬老の日に——へ日本酒を贈った
- ⑩ 素晴らしい考えのこと
- ⑫ 南の島に似合う植物
- ⑭ ——手振りを交えて説明した
- ⑯ 急須のお茶を注ぎます
- ⑰ ノブを持ってあげます

応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



● 賞品

正解者の中から抽選で30名(JAしまね全体)の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

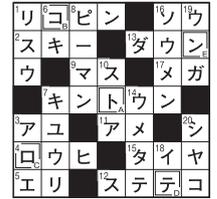
賞品の発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先・締切

〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151
JAしまね 隠岐地区本部「クイズ」係
2024年9月6日(金)(当日消印有効)

◆ 先月号の答え ◆

「トコロテン」



川柳の広場

最優秀賞

人生は悔いと焦りの鬼ごっこ

津和野町 田中とよし様

選句者 島根県川柳連盟会長 竹治ちかし先生

優秀賞

あれこれとあつて世の中難しい

隠岐の島町 上川 晃一様

佳作

逆らわず流れに任す老い二人

出雲市 櫛井 伸幸様

佳作

楽しさを見つけて挑戦旅続く

江津市 湯浅志津子様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」9月号定価 922円
ご購入は、お近くのJAへお問合せください。

JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。(最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句)9月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名(または雅号)を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX: 0852-67-7708
Eメール: fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

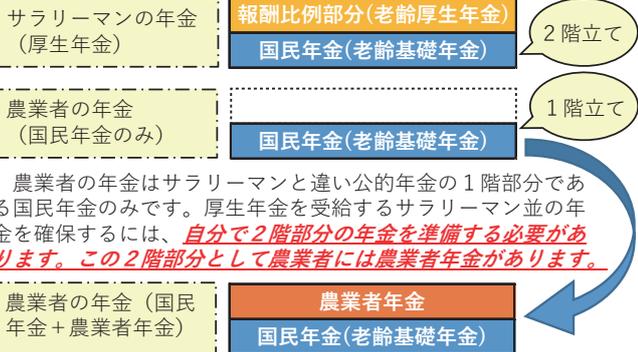
最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

知らないと損！ 農業者年金の税金対策と保険料補助



まず農業者年金ってなに？



農業者の年金はサラリーマンと違い公的年金の1階部分である国民年金のみです。厚生年金を受給するサラリーマン並の年金を確保するには、**自分で2階部分の年金を準備する必要があります。この2階部分として農業者には農業者年金があります。**

農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。



今年は豊作で収入が良かったな…
 だけど税金が多くかかるのでは…
 なにか節税対策はないかな？

前納すれば翌年1年間の保険料も **全額社会保険料控除** に使える！
 生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その合計額（最高保険料6万7千円の場合は3人分で24万1千2百円）が経営主の所得から控除できます。

農業者の担い手には、保険料の国庫補助があります。

保険料の国庫補助

を受けるには…
 国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、

- **39歳までに加入**
- **農業所得が900万円以下**
- **下記の農業者の担い手要件** を満たせば受けられます。

- ① 認定農業者で青色申告をしている人
- ② 認定新規就農者で青色申告している人
- ③ ①または②の要件を満たす経営主と家族経営協定を締結して経営に参画している配偶者、後継者 など

↓
月額最大1万円の保険料補助

詳しい内容のお問合せは…

お近くの農業委員会・JAへ！！

でも…加入する条件があるんでしょ？

農業者年金



※ただし、60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者

の方なら **どなたでも** 加入できます。

ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査
ハチ 駆除

近寄らず、触らず!!
 ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
 最寄りのJAまでご連絡ください。
 JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
 地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店に
 お問い合わせください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コダマサイエンス

- 本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852
- 松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■ 出雲営業所 / ☎0853-31-9600
- 益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■ 江津出張所 / ☎0855-52-6852
- 隠岐営業所 / ☎085112-2-2471



焼きカボチャのほかほかマリネ



コメント

- ・カボチャの焼き浸しは、冷蔵庫で5日間保存できます。
- ・香ばしく焼き上げたカボチャが熱いうちに液に浸すと味がしみ込みやすいです。
- ・カボチャはオーブントースターでも焼けます。また、フライパンで焼いても美味しくできます！

アレンジ

- ・カボチャの焼き浸しは、マヨネーズと和えてサラダにしたり、メインの付け合わせにしたり、すぐ使えて便利です。
- ・カレー粉やマスタードを加えると、スパイシーな味も楽しめます。
- ・パプリカはニンジンやトマトに、紫タマネギは普通のタマネギに替えたり、シシトウ、ピーマン、レンコンもOK！

材料 (4人分)

- カボチャ… 1/3玉 (600g)
- A
- 酢……………大さじ2
 - 水……………50cc
 - 白だし……………大さじ2
 - ベーコン……………2枚
 - しめじ……………1袋
 - 紫タマネギ……………1玉
 - 赤パプリカ……………1/2玉
 - オリーブ油……………小さじ1
- B
- 酢……………大さじ1
 - オリーブ油……………大さじ1
 - 砂糖……………小さじ1
 - 塩……………少々
 - パセリ(または青しそ) ……適量

作り方

- ①カボチャは種とワタを取り、厚さ7～8ミリの薄切りにする。
- ②魚焼きグリルにカボチャを並べ入れて焼く。両面こんがり焼き色をつけ、柔らかくなったら(竹串がすっと通るまで10分程度焼く)バットに取り出し、混ぜ合わせたAをかけて浸しておく。(※カボチャの焼き浸し)
- ③ベーコンは長さ1センチに切り、しめじは小房に分けておく。
- ④タマネギ、パプリカは薄くスライスする。
- ⑤フライパンにオリーブ油を熱し、ベーコンを炒め、しめじも加えてしんなりするまで炒め、火を切る。
- ⑥⑤にスライスしたタマネギとパプリカ、混ぜ合わせたBを加え、②のカボチャの焼き浸しにかける。
- ⑦器に盛り、パセリまたは青しそを飾る。

材料 (4人分)

- ナス……………2本
- 豚ロース薄切り……………8枚
- 青しそ……………8枚
- 小麦粉……………適量
- サラダ油……………大さじ1
- A
- 梅干し……………1個
 - 酒……………大さじ1
 - みりん……………大さじ1
 - 濃口醤油……………大さじ1
 - 水……………大さじ1

作り方

- ①ナスは長さを半分にとって、4等分にし、小麦粉を薄くまぶす。
- ②豚肉を広げ、小麦粉を軽く振り、青しそ1枚、ナス2本を肉の上に乗せて、らせん状に巻く。残りも同様に巻く。
- ③フライパンに油を熱し、②に小麦粉を薄く振り、巻き終わりを下にして並べて焼く。
- ④焼き色がついたら裏返し、蓋をして弱火で4～5分間蒸し焼きにする。
- ⑤フライパンについた余分な脂をふき、Aを加えてからめる。

コメント

- ・梅の酸味で食欲倍増！お弁当のおかずやおつまみにもおすすめです！
- ・ナスは体の熱を冷まして、余分な水分を排出し、消化機能も高める夏にぴったりの食材です！

ナスの肉巻き梅照り焼き



アレンジ

- ・豚ロースは豚バラ肉に替えても美味しくできます！
- ・ナスをズッキーニに替えてもOK！

健康散歩

もしかして夏バテ予備軍かも?!危険度チェックで備えよう

JA島根厚生連

暑い日が続いていますが、みなさん『夏バテ』していませんか？

『夏バテ』とは、夏の暑さによる自律神経系の乱れに起因して現れる様々な症状のことで、「体がだるい」「食欲がない」「疲れやすい」「寝不足」などが主な症状です。

【夏バテ危険度チェック】

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 汗をかきにくい | <input type="checkbox"/> 朝(起きた時に)調子がなんとなく悪い |
| <input type="checkbox"/> 空調の効いた場所にいる時間が長い | <input type="checkbox"/> 運動習慣があまりない |
| <input type="checkbox"/> 冷たい飲みもの・食べ物を多くとる | <input type="checkbox"/> 生活リズムが不規則 |
| <input type="checkbox"/> 胃腸の不調がある | <input type="checkbox"/> シャワーで済ませることが多い |
| <input type="checkbox"/> 睡眠が足りてない | |

6個以上▶夏バテ予備軍/3～5個▶要経過観察/2個以下▶異常なし

夏バテチェックリスト(リンナイ調べ/監修:せたがや内科・神経内科クリニック 久出整司院長)

3個以上当てはまる時は、早めの生活習慣見直しが必要です。まずは、できることから少しずつ改善していきましょう。

【毎日の夏バテ予防法】

1. 日頃から、昼寝を10～15分程度とる
2. 軽い脱水状態や熱中症初期には経口補水液などでの対処を徹底する
3. 軽い脱水症状や熱中症になったあとは、1～2週間回復に努め無理をしない
4. 暑い夜は、エアコンを使い快適な睡眠環境で十分な睡眠をとる
5. 冷たい飲み物の過剰摂取を控え、胃腸に負担をかけないように注意する
6. 適度な運動や入浴で、体に備わっている体温調整機能を働かせる

適切な水分補給、食事、運動、睡眠など生活習慣に注意し、生活リズムを整えましょう。それでも「夏バテ」症状が続く場合は、もしかしたら病気が潜んでいるかもしれません。医療機関へのご相談も考えてみてください。

まだまだ、暑い日が続きそうです。夏バテに気を付けて夏を乗り越えましょう。

